

新年度を迎えて

おぼろ月夜の美しい頃となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃は、まちづくり地域振興会の運営に多大のご協力を頂き厚く御礼申し上げます。昨年度より振興会長に就任し、地域を代表する立場としましては、未熟な点が多々ある私を皆さまからの温かなお力添えを頂き、無事1年間振興会の運営ができましたことを深く感謝いたします。

「中太閤山まちづくり地域振興会」の第11回総会が終わり、いよいよ新年度の活動が始まります。

昨年度は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう活動の中心として地域支え合いネットワーク事業(旧 地域包括ケアシステム)及び地区防災3年計画(中間年)の各実施を目指してまいりました。

地域支え合いネットワーク事業は、平成30年6月、市に事業計画を提出し、採択されたことから同年9月よりパスコで百歳体操をおこなうなど活動を始めました。今年度は、同事業が地域に根ざすよう推進していきたいと考えております。

地域防災力向上対策事業における地区防災3ヵ年計画において昨年度は、中太閤山地区内全町内の安否確認訓練をおこない、多くの町内会(自主防災会)に参加していただきました。最終年となります。今年度は、中太閤山地区全町内の避難訓練などを通じ、更に、地域防災力を高めていきたいと思っております。災害は、あるとき突然訪れます。その時に行った訓練は必ず役に立つと信じております。

また、中太閤山祭り、運動会、感謝の敬老会、文化祭、三世代ふれあい餅つき大会など恒例のイベントを通じて地域住民の交流を深めていきます。

そして、「健康で明るい」「安全で安心なまちづくり」「住みよい地域のまちづくりをめざす」というまちづくり地域振興会の基本理念を踏まえて、今年度の事業に取り組んでまいりたいと思っております。

最後に、太閤山、南太閤山の各振興会とは、「太閤山は一つ」の理念の下、交流を続けておりますが、近年中に三振興会合同での行事を企画することで合意し、現在話し合い中であります。

皆さまのご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

末筆になりましたが皆様健康で活躍されることを祈念して挨拶とさせていただきます。

平成31年4月23日  
中太閤山まちづくり地域振興会  
会長 山本 満夫



中太閤山まちづくり地域振興会  
平成31年度役員名簿

役職	氏名	町名
顧問	小島 啓子	3
顧問	奥原 範彦	16
顧問	松居 定男	6
会長	山本 満夫	2
副会長	越後 隆	16
副会長	奥野 貞昭	9
副会長	江尻 泰将	7
副会長	高岸 和弘	4
副会長	西谷 政信	16
安全安心部長	渡辺 英樹	8
安全安心副部長	田町 三和子	3
安全安心副部長	中村 英志	15
安全安心部長	松本 常攝	5
安全安心副部長	黒田 陽子	12
安全安心副部長	中西 勝	16
安全安心副部長	大垣 真千代	3
健康福祉部長	藤橋 道	2
健康福祉副部長	平野 忍	17
健康福祉副部長	樋口 まち子	14
健康福祉副部長	石庭 さゆり	2
文化部部长	吉村 仁司	12
文化部副部长	佐藤 健	9
文化部副部长	寺生 早苗	2
文化部副部长	宮浦 由美子	10
文化部副部长	堀田 雅子	8
体育部部长	佐伯 明則	6
体育部部长	藪本 外吉	6
体育部副部长	林 裕士朗	9
体育部副部长	石崎 真一	2
体育部副部长	武野 健二	4
体育部副部长	ヴァレリオ・ヴィナリン	12
体育部副部长	松沢 武夫	16
生活環境部長	島倉 喜代治	7
生活環境副部長	山竹 繁樹	9
事務局長	稲垣 高廣	6
事務局次長	十川 佳織	13
事務局員	大庭 恵理	4
会計	山田 久美	9
センター長	山田 格	8
生涯学習推進委員	山田 格	8
センター職員	奥野 貞昭	9
センター職員	山竹 繁樹	9
センター職員	山田 久美	9
センター職員	大庭 恵理	4
監事	中明 勇吉	7
監事	上坊寺 勉	9

平成31年度 町内会長名簿

2丁目	植野 成子
3丁目	大山口 満
4丁目	室谷 喜信
5丁目	中村 良三
6丁目	関原 英里子
7丁目	松浦 寛
8丁目	米林 孝明
9丁目	山内 敦
10丁目	寺崎 伸之
12丁目	吉村 仁司
13・14丁目	宮腰 純子
15丁目	竹林 信二
16丁目	田嶋 隆
17丁目	高橋 昭徳

行事予定(5月~6月)

5月12日(日)資源回収日(該当町内)

5月12日(日)センター花壇清掃 朝8時から

5月19日(日)中太閤山祭り  
午前9時30分~パスコ東側駐車場

5月26日(日) クリーン作戦  
集積場所:中太閤山コミュニティセンター前  
午前6時~8時迄

6月16日(日) 町内対抗ソフトボール大会

コミュニティセンターのお知らせ

申し込み、お問い合わせは当センターへ  
TEL・FAX 56-4105

参加者  
募集!

当日参加可!

※転ばない体づくりを  
目指して...  
始めましょう!  
※参加費...二百円  
※持ち物...タオル  
お茶  
ズック  
5月13日(月)  
ゆめ体操  
10時30分~11時30分  
27日(月)

立山町・上市町方面  
の名水探訪

5月9日(木)  
午前9時出発~午後4時  
☆講師:「富山の名水を守る会」代表 岡岸喜義  
☆行先:立山町・上市町の名水めぐりをした後、  
映画「散り椿」のロケ地になった眼目山  
立山寺を訪ねます。  
☆定員:25名(定員に達し次第締切ります)  
☆参加費:1,700円(昼食代)  
☆締切:4月25日(木)

※7月3日(水) 岡岸喜義先生の「とやま名水講座」  
を予定しています。飲料水をスーパーで買う時代にもう一度美味しい水について考えてみませんか?  
詳細は後日お知らせします。  
◎共催:中太閤山ヘルスポランティア

脳がいきいき  
臨床美術講座①  
「梅雨のガラス絵」

5月30日(木)  
午前9時30分~11時30分  
☆講師:臨床美術士 3名  
☆参加費:100円  
☆持物:なし  
☆締切:5月23日(木)  
※右脳を働かせながら描くのが  
臨床美術です!  
初参加の方も大歓迎です!



歴史・自然体験ハイキング

6月8日(金)

※「できそうでできない呉羽山縦走」  
関東と関西の文化を呉東呉西に分ける  
呉羽山を歩きませんか?  
お天気が良ければ  
“金屋幻の滝”も見えます。

☆受付:午前8時  
☆出発時間:午前8時30分~午後4時  
☆案内人:山田 格  
☆定員:20名  
☆締切:6月1日(土)  
☆持ち物:弁当、敷物、トレッキングシューズ  
ストック・手袋・帽子・お茶  
※小雨決行! 雨具持参!

第1回  
小物作り教室  
「ふくろうのブローチ」

6月19日(水)  
午前9:30~12:00  
◎詳細は  
後日お知らせします!



今後の予定

◎7月19日(金) おはなしの会  
◎7月20日(土) 親子陶芸教室  
◎7月25日(木) 臨床美術講座

花壇の除草

環境美化活動の一環として 4月から10月まで  
“原則”第2日曜日に 花壇の除草を行っています  
都合により変更することがあります  
毎月のセンターだよりをご覧ください

5月12日(日) 午前8時~9時  
ご協力をお願いします!



地域振興会では平成22年度より射水市と協力して、中太閤山地域のがん検診受診率を高め、がんの早期発見・早期治療を通して、健康な中太閤山を目指す運動を展開しています。



(今月のテーマ)

夢のがん治療薬?ノーベル医学生理学賞の本庶佑・京都大特別教授でも話題になった「オプジーボ」の効果とは。医師が考察するがん治療の未来

真生会富山病院 内科 刀塚俊起

ウイルスや細菌と違い、癌はなぜ免疫力で排除できないのか  
免疫とは、病から免れるということです。免疫力が高まれば、病気にかからないし、免疫力が低下すれば病気になってしまいます。

「癌はなぜ発生するのか」。

長らく医学の大きなテーマでした。元々、自分の細胞である癌が、なぜ発生し、増大し、最後には死に至らしめるのか。これ自体が大きな謎でした。といいますのは、身体には、外界からやってきた細菌やウイルスを排除するのみならず、自分の身体にできた異常な細胞をも除去する働きがあります。癌細胞は、身体にとって異物であるにもかかわらず、この免疫システムをすり抜けて増殖してくるのです。「癌になるのは、免疫力が低下しているから」という説が提唱されました。その後、医学の進歩によって、この仮説が有力である事実が分かってきました。つまり免疫力を高めてやれば、癌は自然に小さくなって排除されるはずですが、それが、がん免疫療法の発想の原点です。



最強の免疫「キラーT細胞」が癌の攻撃を始めるとき

がん免疫療法は、これまで様々な研究がなされてきました。免疫力を上げる食物やサプリメントがあれば、それを摂取することによって免疫力がぐんぐん高まり、癌も小さくなって治ってしまうことが期待できます。ところが残念ながら現在まで、その効果のある食べ物は発見されていません。免疫力の本質とは何でしょうか。どのような細胞が免疫力の中心を担っているのでしょうか。大きな役割を占めるのが、リンパ球という細胞です。リンパ球は私たちの血液を通して、身体中のいたる所に存在します。リンパ球の中でも細胞障害性Tリンパ球という細胞は、直接接触した細胞を殺してしまう強力な免疫細胞です。この細胞はキラーT細胞と呼ばれます。癌細胞はなぜ免疫をすりぬけて増殖するのかといいますと、この強力なキラーT細胞を手なずけて働かなくしてしまうからです。長年、癌はどのようにしてキラーT細胞を手なずけるのか、分かりませんでした。もう一度、キラーT細胞に癌細胞を殺させる働きを取り戻させれば、癌を治せる可能性があるのです。キラーT細胞は癌細胞を異物と判断して、癌細胞の周りに集まってきます。癌細胞の周りに集まったキラーT細胞を濃縮したり、リンパ球を活性化するサイトカインという蛋白を投与してみたりもされましたが、いずれもわずかな効果しかありませんでした。

(次のページに続く)

しかしPD-1という蛋白をキラーT細胞が持っていることの発見と、PD-1のリガンド(くつつく蛋白)を癌細胞が持っていることの発見が、その突破口を開きました。癌細胞のPD-1リガンドとキラーT細胞のPD-1が結合すると、シグナル(信号)がキラーT細胞に入り、キラーT細胞が攻撃をやめるのです。それなら、PD-1かそのリガンドを抗体で塞いでしまえば、再びキラーT細胞が癌細胞の攻撃を再開するようになるのではないかと推定されました。このPD-1をふさいでしまう抗体が、オプジーボなのです。

オプジーボの驚く効果! 治る見込みのなかった末期肺癌の腫瘍が縮小

非常に悪性度が高く、死に至る癌である悪性黒色種(メラノーマ)や、治る見込みのない末期肺癌で臨床試験が行われました。驚くべきことに、4分の1の患者で、かつてないほどに腫瘍の縮小がみられたのです。これによって、がん免疫療法のブレイクスルーが生まれました。メラノーマ、腎癌は、免疫療法が比較的効きやすい癌といわれますが、どんな抗がん剤でも全く効果のなかった肺癌にまで効果があったのは、多くの医者を驚かせました。

現在、多くの癌について臨床研究が行われています。すでに肺癌、ホジキンリンパ腫は免疫療法が使用可能となりました。さらに他の分子標的薬(癌の成長に関係している遺伝子の働きを抑制する薬剤)や、別の免疫チェックポイント阻害剤、がんワクチンとの併用が行われています。がん免疫療法が、これまでの抗がん剤に取って代わり癌治療の主役になっていく日も近いでしょう。

